



沖縄県
議会議員

サキ山嗣幸議会活動

NEWS

かけはし



平和の創造を
2020/4 NO.130

※このチラシは沖縄県議会基本条例に基づく議員広報誌です。

新型コロナ
感染症対策

危機感を持った対応を 「社民・社大・結連合」が緊急要請



地球規模で危機を迎えている新型コロナウイルス感染症で、県内でも現実に感染者数が拡大し、不安感が漂っています。

崎山議員の属する社民・社大・結連合は、去る4月10日知事に対し「危機感を持って対策を講じ、県民を守るよう」緊急に要請を行いました。

政府は全国に緊急事態宣言を出し、コロナ感染の収束を目指す対策を打ち出しましたが、沖縄県としても医療や検査の充実、暮らしや経済のため、県が取り得る施策に、危機感を持ち、命を守ることを最優先にするよう強く要請しました。

玉城知事へコロナ感染対策の強化を要請するサキ山議員

要請内容

- ◆ 空港や港での利用客の体温測定実施
- ◆ 医療従事者への強力な支援、安全対策
- ◆ 中小零細企業への損失補償、財政支援
- ◆ 営業せざるを得ない業種への積極的支援など15項目を要請
- ◆ 県外・県内の移動の自粛
- ◆ 充実した検査体制の構築

対策に万全を
コロナ感染

港湾労働者の感染を防げ 港のコロナの感染は県内物流停止の恐れ

全港湾
沖縄が
要請

去る2月17日サキ山議員は、県議会社民会派室を訪れた全港湾沖縄地本の諸見力書記長らから、外航貨物船の乗組員などが作業する那覇港で、サーモグラフィーなど防疫態勢が不十分だと、県に早急な対策を求める要請を受けました。

2月15日入港の外航貨物船の船長にコロナ感染の疑いがあり、感染症指定病院へ搬送され荷役作業が中断、機能が9時間も停止したとのこと。

サキ山議員は、港でのコロナの感染は県内物流のストップの恐れがあり、港湾労働者を守るためにも、クルーズ船に比べ不十分な貨物船の防疫強化を、県に対し強く働きかけています。



サキ山議員らは全港湾沖縄地本の諸見書記長らから要請を受けた。

コロナ対策補正、及び首里城早期復元 辺野古新基地国民的議論、北部基幹病院決議



(県議会本会議)

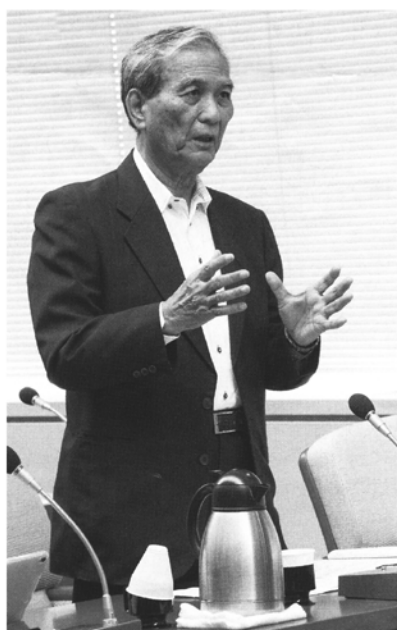
2020年2月定例議会は、2/24～3/27間審議し、討論し、3/27閉会した。

コロナ対策の補正予算では、170億を計上している。しかし感染者が増大していることに対し、危機感を持って、医療、検査、予防施策、経済的支援を求める発言が相次ぎ、また辺野古新基地、首里城、北部基幹病院等は、論議が交わされ、課題を残しながらも決議閉会した。

離島住民の航空路、航路の軽減、首里城復元計画と 所有権移転、街路(開南一帯)、河川(国場一帯)の促進、 沖縄水産高校の練習船建造

予算特別委員会

サキ山議員 力強い発言 (3月3日)(3月9日)



(予算特別委員会で鋭く発言するサキ山議員)

崎山議員は、予算特別委員として、県民の生活基盤の整備を強く訴え、離島住民の航空路、航路の負担軽減事業充実を求めた。航空路は約50万件、航路は約62万件の実績があり、更なる充実が求められる。

首里城は、前回の建設費用が73億円であり、今回、城郭内の費用は、議論の最中とのことである。

開南から与儀交差点向け街路工事は、1,800Mを4車線に整備し、完了は、20年中頃の予定である。

国場川の河川工事は、那覇大橋付近の掘削工事と上流の護岸工事の予定となっている。

モノレールの3両化増設は、全体で6億余を計上し、22年の供用開始を目指している。

沖縄水産高校の練習船、海邦丸5世の代船建造は699トンの大型化で40名乗船でき、22億を予算計上し、22年就航を目指している。



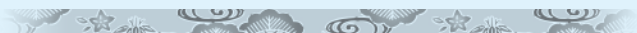
(教育支援課と崎山議員と末吉沖水同窓会長ら)

陳情審査では、座間味浄水場問題は、水道の広域化を目指し、離島住民の水道料金の軽減を図ろうとしているが、場所の設定を巡って難航している。しかし、やっと住民が求める高台へ調査、検討が入った。



4 期 目

2020年7月～2024年6月

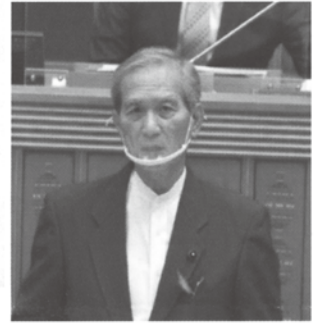


平和行政・県営住宅建設を訴える

(2021年2月定例県議会)

- 米軍の低空飛行(慶良間・金武・国頭)等は許せん。
- 米軍への思いやり予算は不当ではないか。
- 沖縄金融公庫の存続を求め。
- 電気自動車への転換事業の課題は何か。
- 研究機関の役割と充実を聞く。
- 現業職員の補充を求め。
- 乳幼児の虫歯対策を聞く。
- 県営住宅の建設を求め。

質問事項



発言する崎山議員

新造船「海邦丸」4月就航

— 沖縄水産高校実習船(699トン) — 実習教官の拡充求める崎山議員



2021年2月

沖縄水産高校実習船「海邦丸」新造船、総トン数六九九トン、実習生徒六十人乗りが4月に就航する。

崎山議員は、これまで県議会において、海洋水産業を担う、船員養成教育機関の充実、さらに老朽化している「海邦丸」の代船建造を強く求めてきました。

新造船は、実習生徒も増えており、船長、機関長、実習教官の充実体制も求められております。

今回実習教官一名増が確約されました。

実習生の将来の夢を乗せてスタンバイする「海邦丸」の安全航海を祈る。

海運・水産業振興を 宮城企画部長へ要請



2021年2月5日 (企画部長室)

全日本海員組合は、海運・水産業における物資や旅客の海上輸送において、県経済と県民生活を支える役割を担っています。

漢那支部長らは諸政策への取り組みの要請を宮城企画部長に行いました。崎山議員は、政治参与として、また連携議員として、仲村議員が同席した。

沖縄戦跡から辺野古への土砂調達問題！ 崎山議員、与党県議団と共に現場を視察

政府は辺野古埋立土砂調達を沖縄戦で多くの県民が命を落とした南部から3200万㎡の大量の土砂を採取しようとしている。

特に糸満市「魂魄の塔」の横(熊野鉦山)で、遺骨ボランティア具志堅さんらが遺骨収集作業中に突然開発行為が始まりました。

具志堅さんは、戦没者への冒涇だと激しい怒りを発信しています。

崎山議員も与党県議団と共に現場視察を行い、戦没者が眠る戦跡地の国定公園を破壊し、南部からの土砂を7割近くも辺野古の海に投入することを問題視した。



熊野鉦山（魂魄の塔近く） 2021年2月22日



遺骨が発見された採石場



魂魄の塔前で説明を受ける崎山議員



南部土砂を埋め立てに使うな



崎山議員と会派は、那覇空港でのPCR検査の実態を視察（2020年8月）



スポーツ振興の立場から知事に報告
FIA-F4年間王者平良響(ひびき)選手と
崎山議員と会派役員（2021年1月8日）



沖縄県
議会議員

サキ山嗣幸 NEWS

いのち、くらし最優先

2021/4 No137

県予算 7,912 億可決
新型コロナ対策へ増額
対象地域めぐり深夜議会、閉会午前 3 時

2 月定例
県議会
代表質問



6 項目を一般質問する崎山議員

2 月定例議会は 2/16~3/30 までの期間、代表、一般質問、予算審議を終え 3 月 30 日に閉会した。特に最終本会議はコロナ対策の営業時間短縮の対象地域をめぐり紛糾し、午前 3 時頃まで深夜議会となった。県的那覇市を含む中南部 20 市町村の遊興施設を対象とする提案に対し、自民側は、全市町村を対象にすべきと違いを示してきた。県は、時短要請は私権制限となり、可能な限り、限定すべきであり、感染の拡大の兆候があれば検討するとした。ちなみに 20 市町村の対象は 9041 店舗、41 市町村は 11,358 店舗である。

戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使うな！

4/15
補正予算
臨時議会

意見書全会一致

県当局 → 採掘業者へ措置命令 開発禁止は見送り

去る 4 月 15 日の補正予算の本会議は、コロナ感染症対策・2 次補正約 1370 億円、3 次補正 129 億円を全会一致で可決した。

また、戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しない意見書は全会一致で可決した。その後、県当局は 4 月 16 日知事記者会見で、県が最大限とり得る行政行為で異例の判断として、採掘業者に措置命令を出したと発表した。

しかし、開発禁止が見送られ、与党も再考を求める動きをしたが結果的に措置命令にとどまった。



具志堅さんと意見交換する崎山議員

県、東京五輪聖火リレー公道中止

県は、県内の東京五輪聖火リレーの公道を中止し、名護、糸満での公園内を無観客で実施、ネット中継すると発表した。

関係者やアスリート達の無念さもあるが、聖火リレーや東京五輪がコロナ感染症爆発の発生源となったら取り返しのつかないことになる。1964年当時、東京五輪の聖火ランナーとして共に走り抜いた山川義昭さんと、東京五輪・聖火リレーの意義を意見交換した。



山川義昭さんと崎山議員（豊見城陸上競技場）

近況報告

受動喫煙防止 分煙環境整備を！

沖縄たばこ耕作組合から提出された陳情に関し、日本たばこ平野支店長代理、新垣、仲里、組合役員から説明を受けた。たばこ税増税、改正健康増進法の施行により、喫煙規制強化となり、タバコ消費量の減少も伴い、耕作農家や卸売組合への影響が大きく、厳しい状況とのことである。一方、タバコは嗜好品であり、県税 17.7 億、市町村税 108.2 億となり、一般財源へと大きく貢献しており、その財源を分煙環境の整備に充てる配慮を求めている。



対応する（仲村、次呂久、崎山議員）

県、路線バス、タクシー等支援 4 億円の補正可決

県議会は、去る 4 月 15 日 臨時議会を開催し、路線バ、タクシー、離島航路に支援金、約 4 億の支出を可決した。路線バス全 22 社、法人個人タクシー 300 社、離島航路へコロナ対策としての支給となった。小川県バス協会長が、これまでの意見交換や事業支援の挨拶にこられた。



対応する（仲村、次呂久、崎山議員）

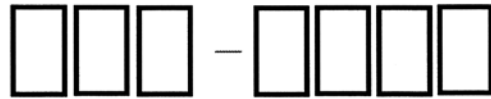
第 6 代海邦丸完成披露式

最新の設備、機能を装備した第 6 代海邦丸総トン数 699t の完成披露式があり、崎山議員も案内を受けた。

第 6 代海邦丸は、県の水産海洋関連産業を支える人材育成の実習船である。当日は、教育庁や福地校長、先生方が見守る中、専攻科、本科生の生徒達は整列し希望に満ちた表情であった。後輩たちへ沖縄の水産海洋産業への担い手として大きく成長して行くことを期待した。



（大嶺先生、崎山議員、大屋先生と）



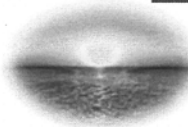
郵便区内特別



沖縄県議会
立憲おきなわ会派

サキ山嗣幸版
2022/1 No.140

2022年 いよいよ復帰50年



コロナ収束・辺野古断念・経済回復

2021年・崎山議員は、①「軽石」防除対策（12月議会）②辺野古サンゴ移植約4万群体は無謀！・コロナ対策（9月議会）③中高校生の通学バス料金無料化の拡充（6月議会）④米軍機の低空飛行・駐留経費の肩代わりは問題⑤県営住宅の需要に答えよ（2月議会）等重点的に取り上げた。新年の復帰50年にあらたに決意！



知事に一問一答の崎山議員（本会議）